

第79期

期 末 報 告 書

(平成23年4月1日から)
(平成24年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成24年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第79期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
連結貸借対照表	5
連結損益計算書	6
貸借対照表	7
損益計算書	8
会社の概要／役員	9
「株主ご優待券」について	10
株主メモ	

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気後退からは回復基調にあるものの、電力供給の制約や欧州の財政不安を背景とした円高等の影響により、先行き不透明な厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のもと当社グループでは、サービスの一層の充実を図るとともに、積極的な営業活動、徹底した経費の削減に努めてまいりました。

この結果、売上高は31億52百万円（前年同期比5.0%減）、営業損失は52百万円、経常損失52百万円、当期純損失71百万円となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

平成23年の映画興行界は、東日本大震災により一部作品の公開延期等、番組編成に影響がありました。また、宣伝活動の自粛等もあり、興行収入が100億円を超える作品がありませんでした。過去最高の興行収入であった平成22年に比べ、全国入場人員は前年比17.0%減の1億44百万人となりました。興行収入につきましても、前年比17.9%減の1,811億97百万円となり、最近10年では最も低調な成績という大変厳しい状況でありました。

スクリーン数においては、シネマコンプレックスが飽和状態であり、18年ぶりに減少いたしました。しかしながら、1スクリーンあたりの興行収入は依然として改善されておられません。

このような状況のなか当事業では、サービスの一層の向上を図るとともに、「ミッドランド スクエア シネマ」につきましても、全客席の入れ替えを実施するなど、ご鑑賞いただくための環境面の充実を図りました。また、効率的かつ独自の番組編成にも心掛けてまいりました。

当期は、洋画118本、邦画87本、アニメが34本、ODS（映画以外のデジタルコンテンツ）が26本の合わせて265本公開いたしました。

主な上映作品としましては、洋画では、5月公開の3D映画「パイレーツ・オブ・カリビアン 生命の泉」、7月公開の3D映画「ハリー・ポッターと死の秘宝 PART 2」、12月公開の「ミッション：インポッシブル ゴースト・プロトコル」、邦画では、4月公開の「GANTS PERFECT ANSWER」、10月公開の「ステキな金縛り」、1月公開の3D映画「ALWAYS 三丁目の夕日 '64」、アニメでは、7月公開の「コクリコ坂から」、12月公開の「映画 けいおん！」などが高稼働いたしました。ODSでは、ゲキ×シネ「薔薇とサムライ」、ライブビューイングの「浜崎あゆみ 大晦日カウントダウンライブ」などの番組を編成いたしました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、特別企画の第二回「午前10時の映画祭 何度見てもすごい50本」を上映し、多くの映画ファンに足をお

運びいただきました。

この結果、当事業では、売上高は21億50百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」におきましては、地域に密着したイベントの実施や新メニューの開発を図り、順調に推移いたしました。

温浴部門の名古屋市中川区の「太平温泉 天風の湯」および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」は、癒しを提供するとともに、地域密着型の運営を心掛け、イベントも積極的に実施するなど、お客様に愛される施設の運営に努めてまいりました。

しかしながら、お客様の来店頻度の減少および客単価の減少により、収益の低下をもたらしました。

「太平温泉 天風の湯」におきましては、昨年12月にリニューアルオープンし、女性のお客様を中心に好評をいただいておりますが、予想していた成績には至りませんでした。

この結果、当事業では、売上高は8億5百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

【アド事業】

「中日本エージェンシー」におきましては、顧客の広告宣伝費等の圧縮や価格競争等があるなか、既存分野に集中し、営業力・受注力の強化に努めた結果、徐々に実を結んでまいりました。

展示装飾、看板の製作業務、広告代理店業務においては、特に長年培った映画宣伝に関するスキルを活かし、映画宣伝材料の受注など、さらなる販路拡大に努めてまいりました。また、イベントの企画運営にも注力してまいりました。

浴室等のリフォーム等においては、法人への営業が功を奏し、定期案件受注の増加を図ることができました。

この結果、当事業では、売上高は1億96百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、収益構造改革により企業の収益や個人消費が徐々に伸びているなど、東日本大震災の影響からは回復傾向となり、震災前の状況に戻りつつあるものの、欧州の財政不安や原油高等により景気が下向きリスクを抱えている状況であります。

当社グループにおきましても、厳しい経営環境が続くものと思われませんが、引き続き徹底的な経費削減を図ってまいりますとともに、安心できる施設でお客様の心に響くような「おもてなし」の提供や感動を与える商品の提供をすることで、利益確保に努めてまいります。

シネマ事業では、全てのスクリーンを順次デジタルシネマ対応とするなど、サービスの拡充に努め、お客様に満足いただけるよう柔軟かつ効率的な番組編成を図ってまいります。また、劇場宣伝の強化も図り、稼働率アップに努めてまいります。

第80期の予定作品といたしましては、洋画では、6月公開の3D映画「アメーzing・スパイダーマン」、8月公開の3D映画「アベンジャーズ」、9月公開の3D映画「バイオハザードV リトリビューション」、邦画では、7月公開の「BRAVE HEARTS 海猿」、9月公開の「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」、アニメでは、7月公開の「ポケット・モンスター ベストウィッシュ キュレムVS聖剣士」、12月公開の「ONE PIECE FILM Z」、ODSでは、「METライブビューイング」、「シネマ落語」、さらに、第三回「午前十時の映画祭 何度見てもすごい50本」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、本年3月13日に開示いたしましたとおり、名古屋駅前に平成28年末に竣工予定の「(仮称)新・第二豊田ビル」へシネマコンプレックスを出店いたします。このシネマコンプレックスは、7スクリーン、1,100席の予定で、株式会社松竹マルチプレックスシアターズ(東京都中央区)との共同事業体が運営いたします。現在は、具体的な設計、運営計画を立案中であります。

リラクゼーション事業では、引き続き地域密着型の運営を心掛け、イベントの強化、サービスの充実を図り、お客様に愛される地域一番店になるよう努めてまいります。

また、「太平温泉 天風の湯」につきましては、引き続きリニューアルした施設の宣伝に努め、お客様の来店動機に結び付く施策を講じてまいります。

アド事業では、安定した収益をあげるべく、顧客の信頼度をより一層向上させ、より丁寧な営業活動、定期案件の増加に努め、安定した利益体質へと導いてまいります。

サービス業を営んでいる当社グループでは、お客様に選ばれる施設を目指し、一層の精進をしてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	645,883	流 動 負 債	510,716
現金及び預金	354,064	支払手形及び買掛金	241,106
受取手形及び売掛金	98,040	1年内返済予定の長期借入金	156,204
有 価 証 券	70,114	リ ー ス 債 務	13,250
た な 卸 資 産	7,204	未 払 金	2,455
繰 延 税 金 資 産	27,140	未 払 法 人 税 等	2,120
そ の 他	90,611	未 払 消 費 税 等	2,426
貸 倒 引 当 金	△1,293	未 払 費 用	52,443
		賞 与 引 当 金	13,388
		そ の 他	27,321
固 定 資 産	3,819,534	固 定 負 債	988,246
有 形 固 定 資 産	(2,853,669)	長 期 借 入 金	498,140
建 物 及 び 構 築 物	2,406,481	リ ー ス 債 務	15,085
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	155,873	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	107,020
工 具 、 器 具 及 び 備 品	112,160	退 職 給 付 引 当 金	53,470
土 地	179,153	資 産 除 去 債 務	49,473
無 形 固 定 資 産	(30,218)	受 入 保 証 金	265,044
電 話 加 入 権	1,147	繰 延 税 金 負 債	11
ソ フ ト ウ ェ ア	29,070	負 債 合 計	1,498,963
投資その他の資産	(935,646)	純 資 産 の 部	
投 資 有 価 証 券	291,450	株 主 資 本	2,916,430
差 入 保 証 金	613,918	資 本 金	270,000
長 期 前 払 費 用	1,836	資 本 剰 余 金	13
繰 延 税 金 資 産	28,441	利 益 剰 余 金	2,656,845
		自 己 株 式	△10,428
		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	50,024
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	50,024
資 産 合 計	4,465,417	純 資 産 合 計	2,966,454
		負 債 純 資 産 合 計	4,465,417

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,152,053
売 上 原 価		1,468,021
売 上 総 利 益		1,684,032
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,736,938
営 業 損 失		52,905
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	6,706	
協 賛 金 収 入	95	
そ の 他	9,595	16,397
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	12,652	
そ の 他	3,826	16,478
経 常 損 失		52,987
特 別 利 益		
資 産 除 去 債 務 履 行 差 額		29
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	23,862	
固 定 資 産 売 却 損	313	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3,935	28,111
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失		81,069
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,029	
法 人 税 等 調 整 額	△10,143	△9,114
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 損 失		71,954
当 期 純 損 失		71,954

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	527,575	流 動 負 債	447,291
現金及び預金	295,607	買掛金	206,706
売掛金	61,009	1年内返済予定の長期借入金	156,204
有価証券	70,114	リース債務	10,995
商 品	3,434	未払法人税等	1,547
前払費用	23,933	未払消費税等	2,231
預 け 金	56,677	未払費用	33,917
繰延税金資産	15,817	賞与引当金	8,088
その他の	1,332	そ の 他	27,602
貸倒引当金	△351		
固 定 資 産	4,374,428	固 定 負 債	967,823
有形固定資産	(3,265,690)	長期借入金	498,140
建物	2,271,641	リース債務	6,817
構築物	101,402	役員退職慰労引当金	104,108
機械装置	131,619	退職給付引当金	42,434
器具備品	91,857	資産除去債務	47,079
土地	669,168	受入保証金	269,244
無形固定資産	(18,840)	負 債 合 計	1,415,115
電話加入権	861	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	17,979	株 主 資 本	3,436,885
投資その他の資産	(1,089,898)	資 本 金	(270,000)
投資有価証券	291,298	資 本 剰 余 金	(13)
関係会社株式	45,000	資 本 準 備 金	13
関係会社長期貸付金	135,000	利 益 剰 余 金	(3,177,300)
差入保証金	589,303	利 益 準 備 金	67,500
長期前払費用	1,695	その他利益剰余金	3,109,800
繰延税金資産	28,951	配当準備積立金	480,000
貸倒引当金	△1,350	別 途 積 立 金	2,380,000
		繰越利益剰余金	249,800
		自 己 株 式	(△10,428)
		評価・換算差額等	50,003
		その他有価証券評価差額金	(50,003)
資 産 合 計	4,902,004	純 資 産 合 計	3,486,889
		負 債 純 資 産 合 計	4,902,004

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,346,826
売 上 原 価		<u>1,263,579</u>
売 上 総 利 益		1,083,246
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		<u>1,110,592</u>
営 業 損 失		27,346
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	8,904	
雑 収 入	13,609	22,513
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	12,652	
雑 損 失	3,360	<u>16,013</u>
経 常 損 失		20,845
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	12,524	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3,935	<u>16,460</u>
税 引 前 当 期 純 損 失		37,305
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	456	
法 人 税 等 調 整 額	<u>△2,718</u>	<u>△2,262</u>
当 期 純 損 失		35,043

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 概 要 (平成24年 3月31日現在)

設 立	昭和29年 7月23日
資 本 金	270,000,000円
発行済株式総数	538,874株 (自己株式1,126株を除く)
株 主 数	2,808名
従 業 員 数	29名
本 店	名古屋市中村区名駅四丁目 7 番 1 号
事 業 所	ピカデリー 名古屋市中村区 ミッドランドシネマ 名古屋空港 愛知県西春日井郡豊山町 ミッドランド スクエア シネマ 名古屋市中村区
連 結 子 会 社	中日本商事株式会社 名古屋市中村区名駅四丁目 7 番 1 号 覚王山カフェJi. Co. 名古屋市千種区 太平温泉 天風の湯 名古屋市中川区 松竹温泉 天風の湯 愛知県江南市 中日本エージェンシー 名古屋市中村区

役 員 (平成24年 6月26日現在)

代表取締役会長	服 部 清 純
代表取締役社長	服 部 徹
取 締 役	原 田 克 己 興行部担当・興行部部长
取 締 役	三 田 則 男 経理部担当・経理部上席部长
取 締 役	水 尾 健 一 (社外取締役)
取 締 役	大 谷 信 義 (社外取締役)
常 勤 監 査 役	佐 藤 桂 一
監 査 役	岡 本 藤 太 (社外監査役)
監 査 役	新 井 紀 夫 (社外監査役)
執 行 役 員	貴 田 吉 晴 総務部担当・総務部部长

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末日）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様には、8月、9月、10月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および11月、12月、翌年1月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知と同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様には、2月、3月、4月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」および5月、6月、7月、三ヶ月間内でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書と同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚	（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚	（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚	（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚	（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚	（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚	（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚	（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚	（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

- 「株主ご優待券」を直営 映画館・共同事業体運営 映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

直営 映画館	住所・電話番号
ピカデリー	名古屋市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F (052) 551-5461
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内 (0568) 39-3911

※3D映画については、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」でのみ3D鑑賞料金（400円）をご負担のうえ、ご利用可

共同事業体運営 映画館	住所・電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	名古屋市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F (052) 527-8808

※3D映画については、ご利用不可

- 「株主ご優待券」を子会社運営 スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

子会社運営 スーパー銭湯	住所・電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市中川区平戸町2-1-10 (052) 355-4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378-15 (0587) 53-4126

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 掲 載 新 聞	中部経済新聞
上 場 取 引 所	名古屋証券取引所 第二部
証 券 コ ー ド	9643
インターネットアドレス	http://www.nnk-cinema.co.jp

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>